

北海道ギャンブル等依存症実態調査

【調査結果報告書（案）】

暫定版

令和元年8月9日現在

令和元年8月

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課

実態調査の趣旨

道では、ギャンブル等依存症対策基本法（平成30年法律第74号）に基づく、道のギャンブル等依存症対策推進計画の策定に向け、有識者等で構成する推進会議を設置し、協議・検討を進めている。

この度、推進計画を策定するにあたり、道内の精神科標榜医療機関及び相談機関等に対してギャンブル等依存症に係る対応状況等を調査し、ギャンブル等により生じている問題等の実態を把握し、道の推進計画の策定や今後の依存症対策の検討に資するため実施したものを。

目次

1 調査概要.....	2
2 調査結果.....	4
(1) 医療機関	4
(2) 相談機関	14

1 調査概要

①調査目的	道内の精神科標榜医療機関及び相談機関等に対して、ギャンブル等依存症に係る対応状況等を調査し、ギャンブル等により生じている問題等の実態を把握し、道の推進計画の策定や今後の依存症対策の検討に資するために実施する。																																																
②調査施設数及び回答数	<p>2 調査施設等【1,220施設】</p> <p>①精神科標榜医療機関【357】、内回答数【228】 回答率【63.9%】、有効回答数【205】</p> <p>②相談機関【837】、内回答数【557】、回答率【66.5%】、有効回答数【516】</p> <p>③当事者団体等（GA、ギャマノン等）【26】、内回答数【 】、回答率【 】※調査中</p> <table border="1" data-bbox="343 481 1252 1240"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>施設数</th> <th>施設名</th> <th>施設数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関</td> <td>357</td> <td>いのちの電話相談</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>地域包括支援センター</td> <td>275</td> <td>北海道消費者協会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>障害者の相談機関</td> <td>200</td> <td>消費生活相談窓口（市町村）</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>生活困窮者相談窓口</td> <td>52</td> <td>臨床心理士会</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>福祉事務所（生保相談窓口）</td> <td>68</td> <td>法テラス</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地域定着支援センター</td> <td>2</td> <td>更生保護施設</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>女性相談援助センター</td> <td>1</td> <td>司法書士会</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>児童相談所</td> <td>9</td> <td>GA等（当事者団体：本人）</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>道立保健所及び保健所設置市</td> <td>29</td> <td>ギャマノン等（ " : 家族）</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>道立精神保健福祉センター</td> <td>1</td> <td>依存症回復支援施設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>札幌こころのセンター</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施設名	施設数	施設名	施設数	医療機関	357	いのちの電話相談	2	地域包括支援センター	275	北海道消費者協会	1	障害者の相談機関	200	消費生活相談窓口（市町村）	179	生活困窮者相談窓口	52	臨床心理士会	1	福祉事務所（生保相談窓口）	68	法テラス	4	地域定着支援センター	2	更生保護施設	8	女性相談援助センター	1	司法書士会	4	児童相談所	9	GA等（当事者団体：本人）	16	道立保健所及び保健所設置市	29	ギャマノン等（ " : 家族）	8	道立精神保健福祉センター	1	依存症回復支援施設	2	札幌こころのセンター	1		
施設名	施設数	施設名	施設数																																														
医療機関	357	いのちの電話相談	2																																														
地域包括支援センター	275	北海道消費者協会	1																																														
障害者の相談機関	200	消費生活相談窓口（市町村）	179																																														
生活困窮者相談窓口	52	臨床心理士会	1																																														
福祉事務所（生保相談窓口）	68	法テラス	4																																														
地域定着支援センター	2	更生保護施設	8																																														
女性相談援助センター	1	司法書士会	4																																														
児童相談所	9	GA等（当事者団体：本人）	16																																														
道立保健所及び保健所設置市	29	ギャマノン等（ " : 家族）	8																																														
道立精神保健福祉センター	1	依存症回復支援施設	2																																														
札幌こころのセンター	1																																																
③調査方法	アンケート調査（調査票を郵送及びメール配布、郵送及びメール回収）																																																
④調査期間	<p>○ 医療機関及び相談機関 令和元年年7月16日(火)～7月31日(水)</p> <p>○ 当事者団体等 令和元年7月26日(金)～9月13日(金)までに随時調査</p> <p>※ 調査対象期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日</p>																																																
⑤調査項目	<p>○ 医療機関</p> <p>① 依存症に関する年間問合せ件数、②問合せに対する対応状況、③患者数（通院・入院別）[ギャンブル等種別・年齢層毎]、④通院・入院期間、⑤治療途中で医療を中断した方の割合、⑥依存症と診断した場合のその後の対応（フォロー）、⑦依存症と診断した方で他の精神疾患が併存している数、⑧触法行為や自己破産を経験している患者の対応の有無 など</p> <p>○ 相談機関</p> <p>① ギャンブル等問題が関わっていた相談件数 ②相談者（本人・家族別）、③ギャンブル等種別毎、④問題別（多重債務、貧困、虐待、DV、失踪・家出、自殺問題、触法行為）⑤年齢層別、⑥相談があった場合の対応状況、⑦同一案件での相談回数 など</p> <p>○ 当事者団体等</p> <p>①性別、②年齢、③のめり込んだギャンブル等の種別、④治療機関や回復施設利用の有無、⑤団体につながったきっかけ、⑥ギャンブル等のにめり込むことにより陥った状況（多重債務、貧困、虐待、DV、失踪・家出、自殺問題、触法行為）、⑦自分のギャンブル等問題を依存症という病気と思うか、⑧団体につながるまでの期間、⑨団体に通い始めてからの期間、⑩団体に参加している頻度、⑪相談した機関、⑫行政に取り組んでほしいこと など</p>																																																

調査結果

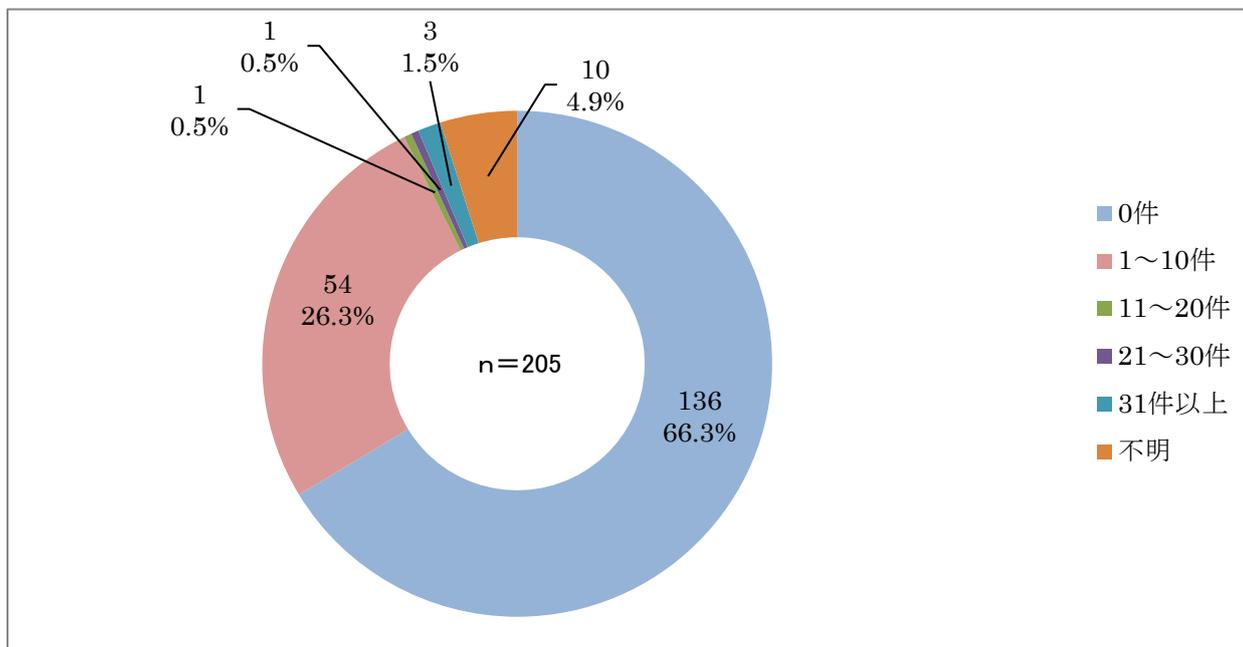
- ・ 実際のアンケートの質問に沿って、項目の集計値、割合、意見等を表記した。
- ・ アンケートでは、無回答もあり、合計と内訳の数値とが一致しない場合がある。

2 調査結果

(1) 医療機関 (有効回答数：205)

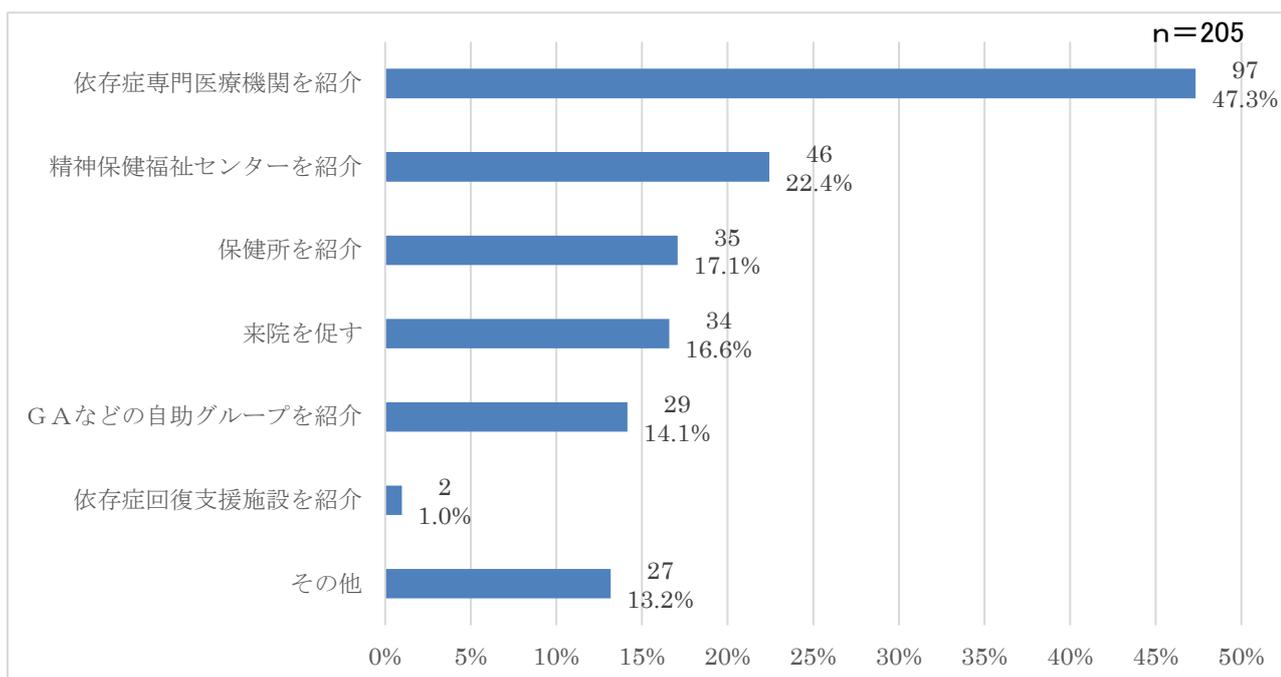
問1 貴院において、ギャンブル等依存症の受診に関する年間問合せ延件数はどの程度ありますか。該当するものに○、正確な件数を把握している場合は、その数値もお願いします。

○ 回答のあった205件のうち、問い合わせがあった医療機関の数は、69機関(33.7%)で、そのうち1～10件が54件と約8割を占めているが、最も多い医療機関では50件の問い合わせがあった。



問2 一般的な対応として、ギャンブル等依存症に関するお問い合わせがあった場合の貴院における対応について、該当する項目に○をつけてください(複数回答可)。

○ お問い合わせがあった場合の主な対応としては、依存症専門医療機関への紹介が最も多く、次いで精神保健福祉センター、保健所への紹介となっている。



問3 貴院において、平成30年4月～平成31年3月にギャンブル等依存症で受診等された方に関しお尋ねします。
 (1) 患者数(通院・入院別)及び主要因となったギャンブル等の内訳を記載してください。
 また、ネット購入者数もわかる範囲で記載してください。

ア 通院について

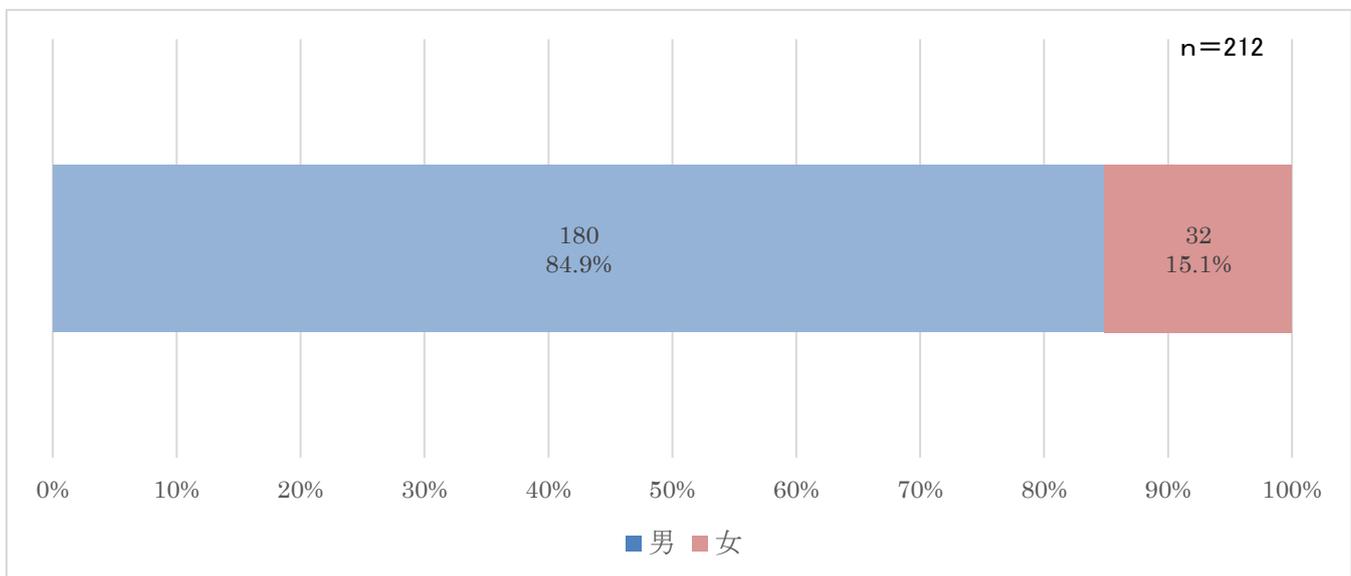
区 分		男 性	女 性	合 計	
①通院患者数(延人数)		2018人	417人	2435人	
②通院患者数(実人数)		180人	32人	212人	
内 層	20歳未満 (うち、ネット購入者)	3人 (0人)	0人 (0人)	3人 (0人)	
	20代 (うち、ネット購入者)	38人 (5人)	1人 (0人)	39人 (5人)	
	30代 (うち、ネット購入者)	62人 (3人)	6人 (0人)	68人 (3人)	
	40代 (うち、ネット購入者)	40人 (0人)	8人 (0人)	48人 (0人)	
	50代 (うち、ネット購入者)	23人 (1人)	8人 (0人)	31人 (1人)	
	60代 (うち、ネット購入者)	11人 (1人)	4人 (0人)	15人 (1人)	
	70歳以上 (うち、ネット購入者)	3人 (2人)	5人 (0人)	8人 (2人)	
	主 要 因 の ギ ャ ン ブ ル 等	競馬 (うち、ネット購入者)	25人 (9人)	0人 (0人)	25人 (9人)
		競輪 (うち、ネット購入者)	5人 (0人)	0人 (0人)	5人 (0人)
		オートレース (うち、ネット購入者)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
		モーターボート (うち、ネット購入者)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
		パチンコ・パチスロ	145人	32人	177人
		その他(FX、ゲーム)	5人	0人	5人

通院患者数(実人数)について

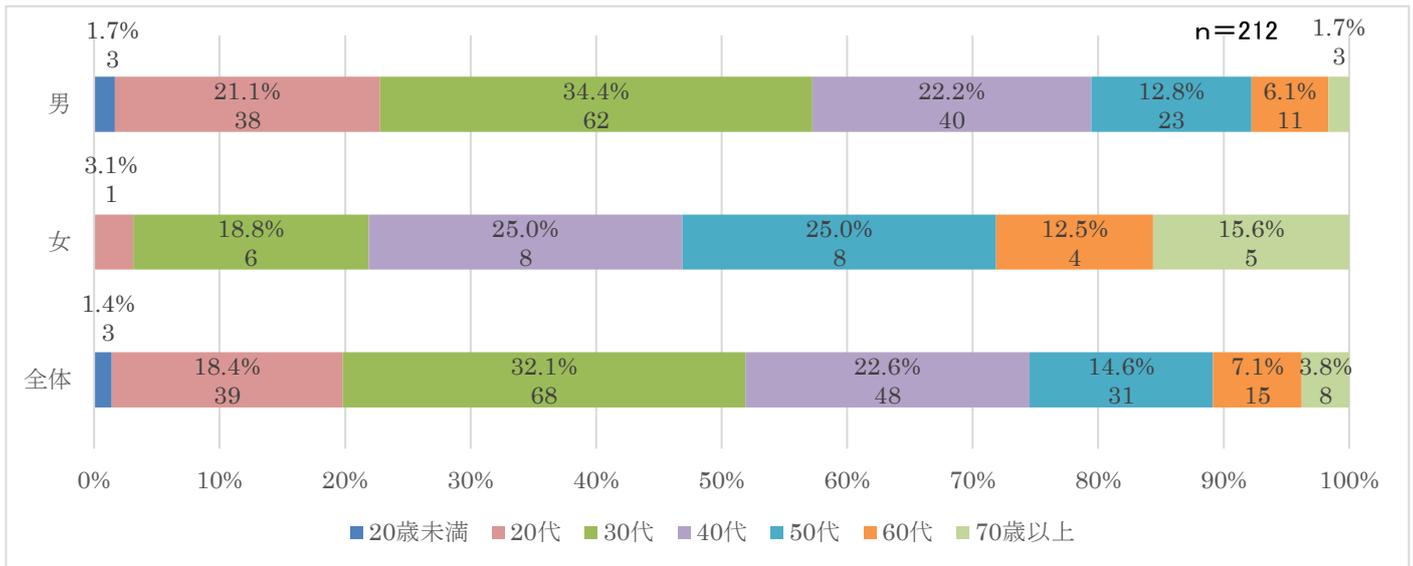
○ 通院された方は212人であり、男性が8割以上を占めており、年齢別では、男性は30代が最も多く、女性では、40～50代で半数を占めている。

また、ギャンブル等の種別では、全体でパチンコ・パチスロが83%で、次いで競馬が12%となっており、女性については、パチンコ・パチスロが100%となっている。

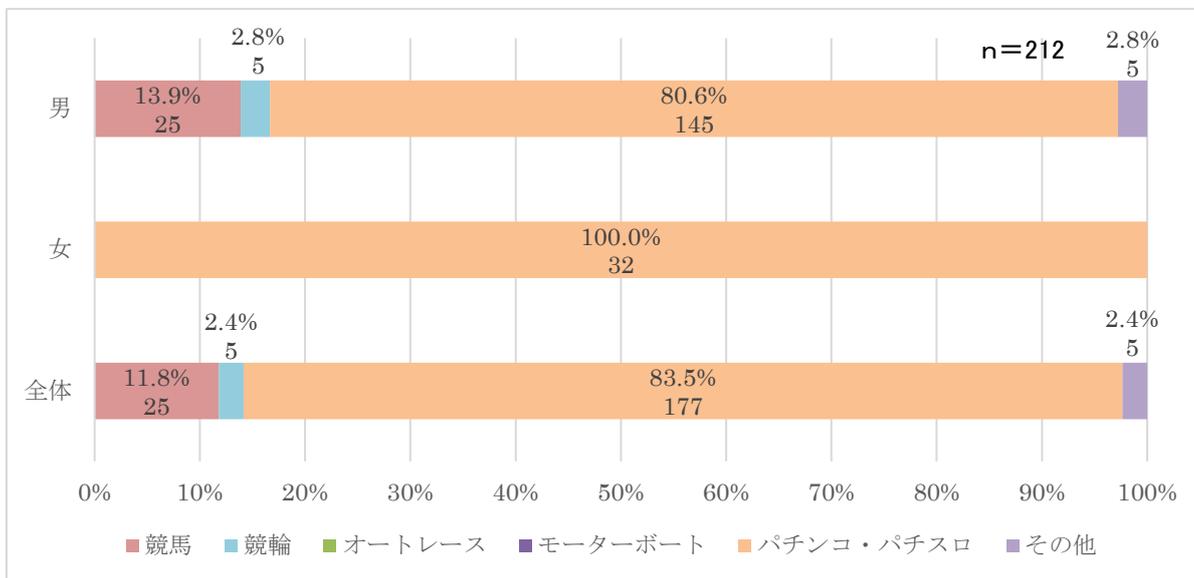
【全体実人数男女比】



【年齢別】



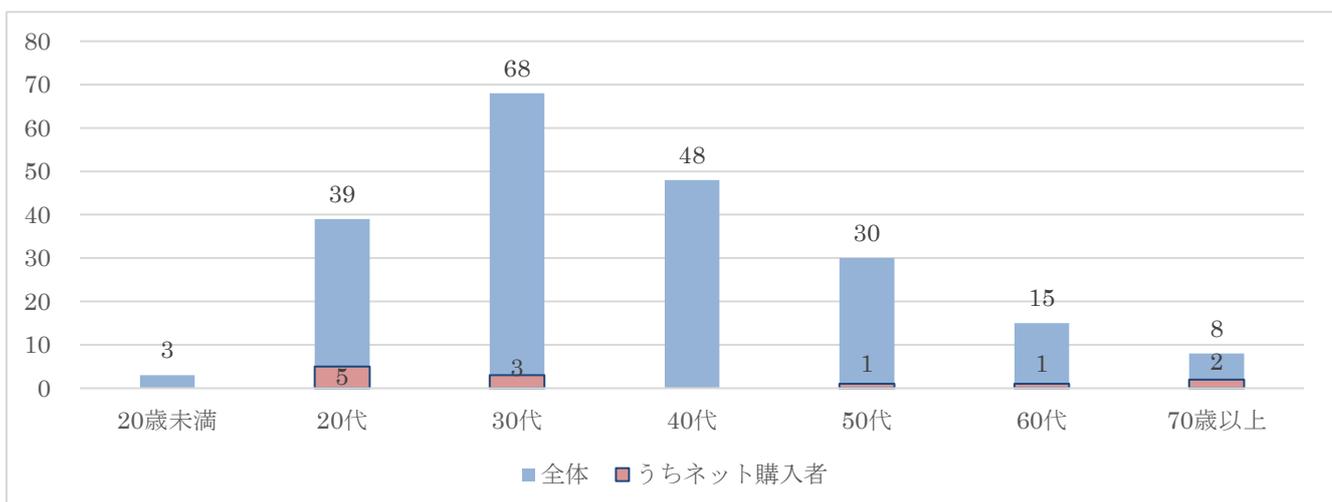
【ギャンブル等の種別】



ネット購入者の年齢層について

○ ネット購入者については、全体の割合は少ないが、年齢層は20～30代が多く、全年齢層に見受けられる。

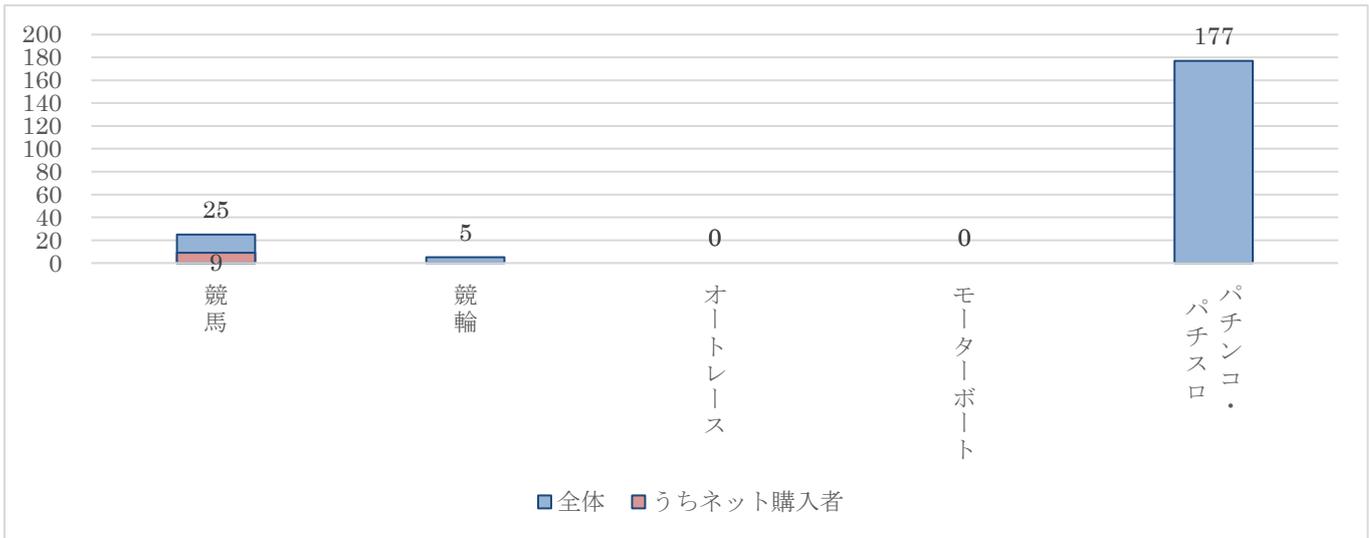
【合計】



ネット購入者のギャンブル等種別について

○ ネット購入者は、競馬のみにおり、割合は約4割と高くなっている。

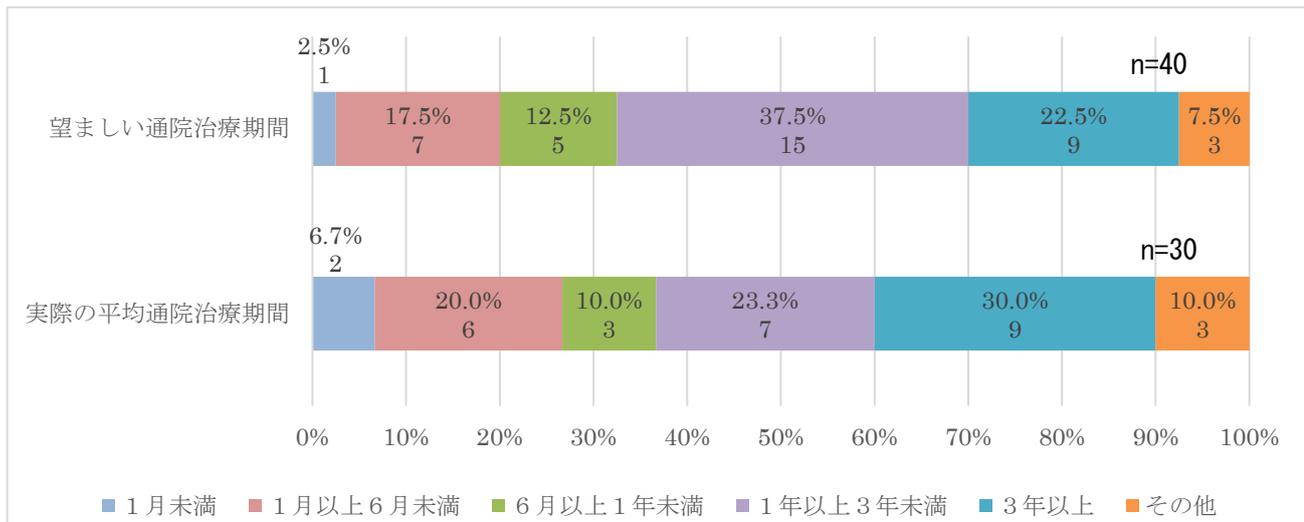
【合計】



③-1 貴院が想定するギャンブル等依存症の治療の望ましい通院治療期間について、最も近いものに1つをつけてください。

③-2 貴院がギャンブル等依存症の治療に実際になされた平均的な通院治療期間について、該当するものに1つをつけてください。

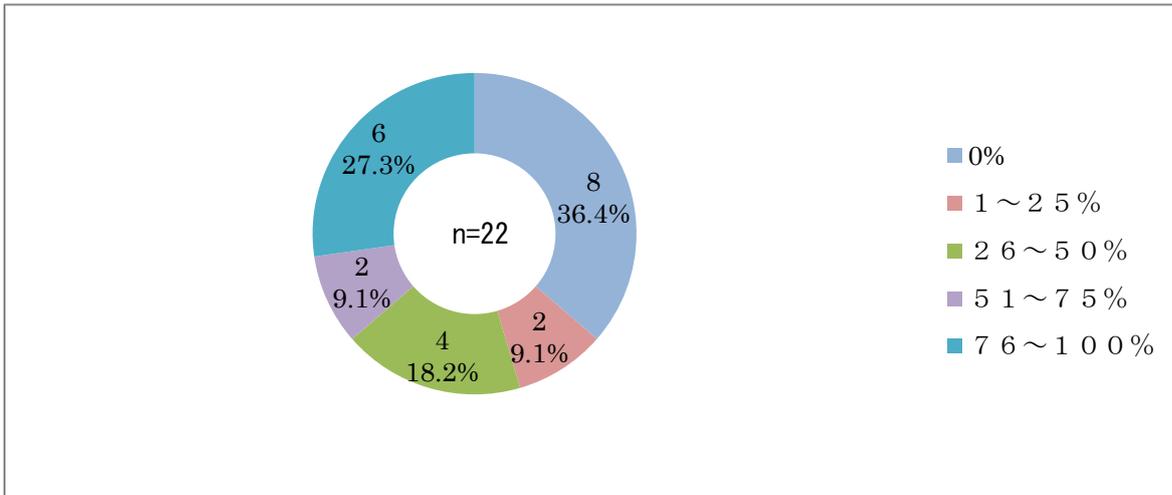
○ 医療機関が想定する望ましい通院治療期間は、回答のあった40件のうち、「1年以上3年未満」が最も多く、次いで「3年以上」となっている。一方、医療機関における実際になされた平均的な通院治療期間は、回答のあった30件のうち、「3年以上」が最も多くなっており、医療機関の想定よりも通院期間が長期化する傾向が見受けられる。



※その他は、「患者による」や「期間を定められない」と回答している

④ ギャンブル等依存症で通院された患者さんの中で、医療を自己中断したと思われる方はどのくらいの割合か記載してください。

○ 通院を自己中断したと思われる方は、回答のあった22件のうち、「自己中断がない」が8件（36%）である一方、自己中断が50%を超える医療機関が同数となっている。



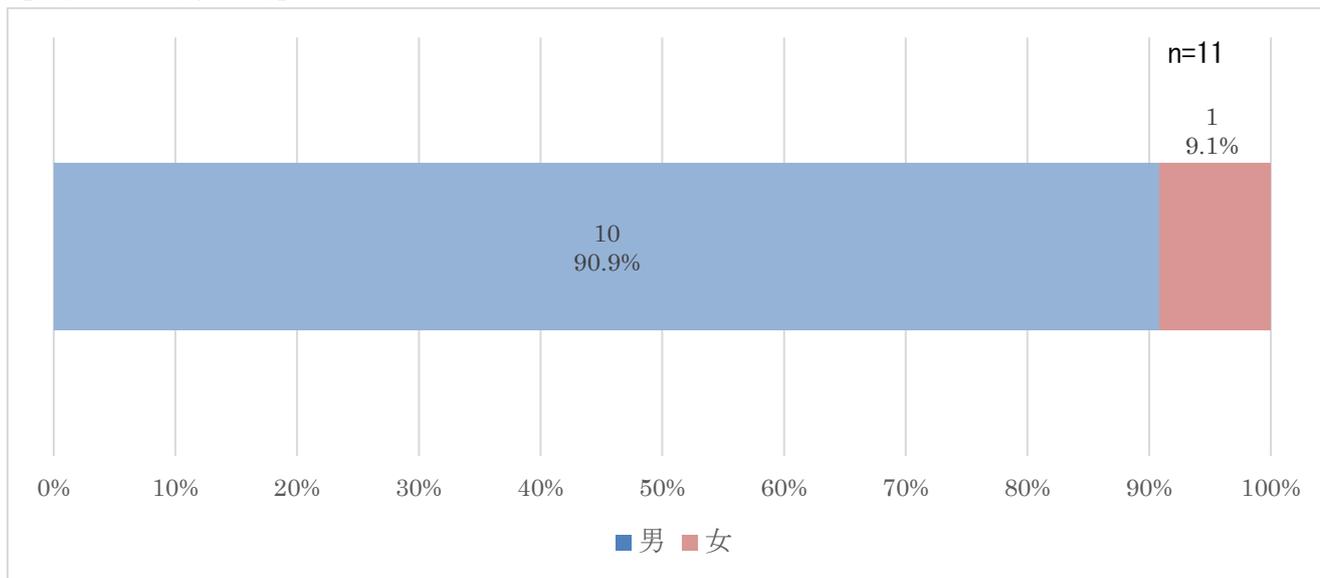
イ 入院について

区 分		男 性	女 性	合 計
①入院患者数（延人数）		10人	1人	11人
②入院患者数（実人数）		10人	1人	11人
内 年 齢 層	20歳未満 （うち、ネット購入者）	1人 (0人)	0人 (0人)	1人 (0人)
	20代 （うち、ネット購入者）	3人 (0人)	0人 (0人)	3人 (0人)
	30代 （うち、ネット購入者）	1人 (0人)	1人 (0人)	2人 (0人)
	40代 （うち、ネット購入者）	2人 (0人)	0人 (0人)	2人 (0人)
	50代 （うち、ネット購入者）	2人 (0人)	0人 (0人)	2人 (0人)
	60代 （うち、ネット購入者）	1人 (0人)	0人 (0人)	1人 (0人)
	70歳以上 （うち、ネット購入者）	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
訳 主 要 因 の ギ ャ ン ブ ル 等	競馬 （うち、ネット購入者）	3人 (0人)	0人 (0人)	3人 (0人)
	競輪 （うち、ネット購入者）	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	オートレース （うち、ネット購入者）	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	モーターボート （うち、ネット購入者）	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)
	パチンコ・パチスロ	6人	1人	7人
	その他（ゲーム）	1人	0人	1人

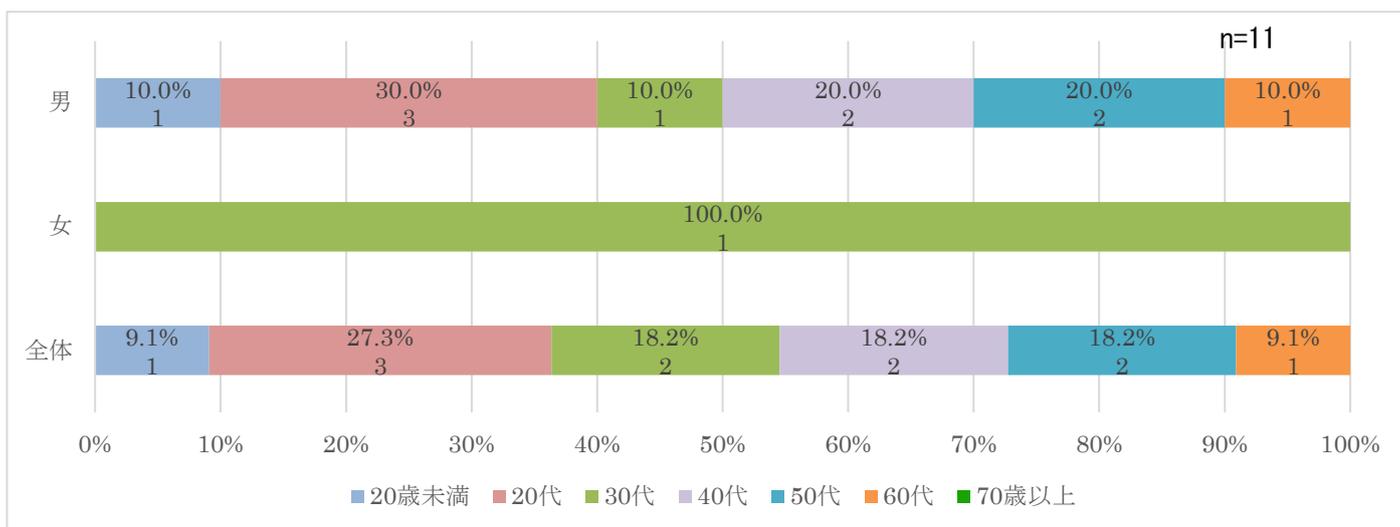
入院患者数（実人数）について

○ 入院された方は、11名であり、うち男性が10名で、70歳以上を除く全年齢層に見受けられる。また、ギャンブル等の種別では、全体でパチンコ・パチスロが64%で、次いで競馬が27%となっており、女性1名については、パチンコ・パチスロとなっている。

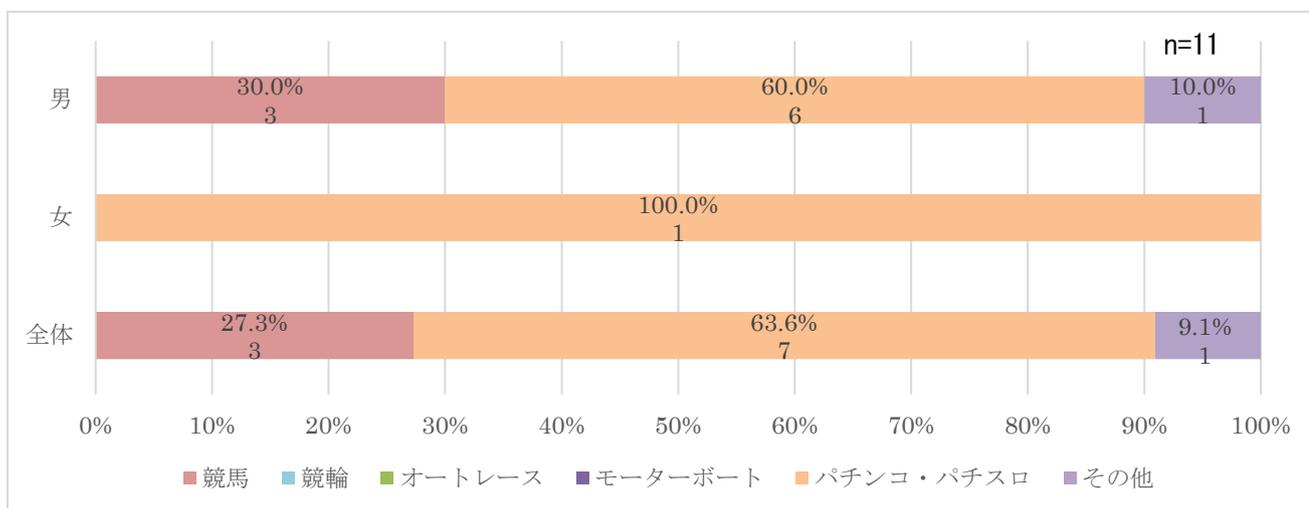
【全体延べ人数男女比】



【年齢別】

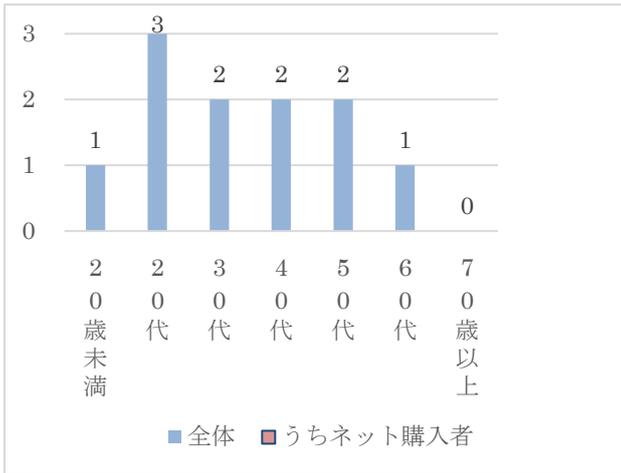


【ギャンブル等の種別】



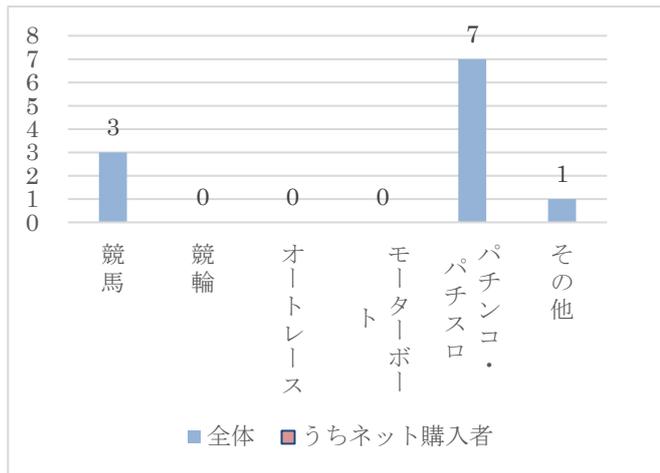
入院患者の年齢層について

【合計】



入院患者のギャンブル等種別について

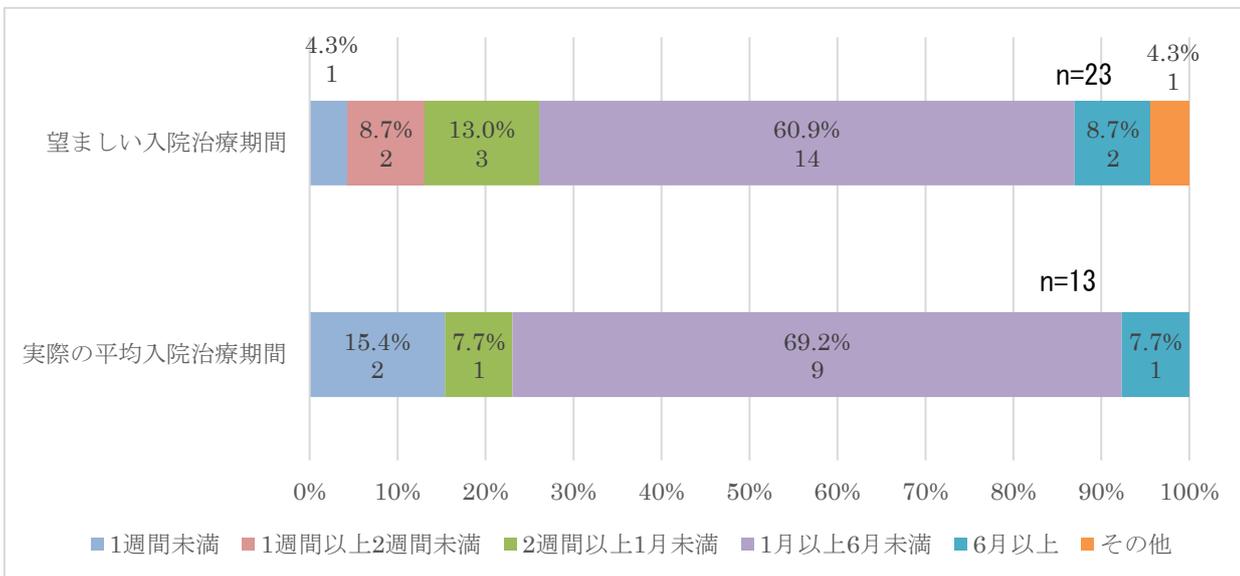
【合計】



※入院された方で、ネット購入者はいなかった。

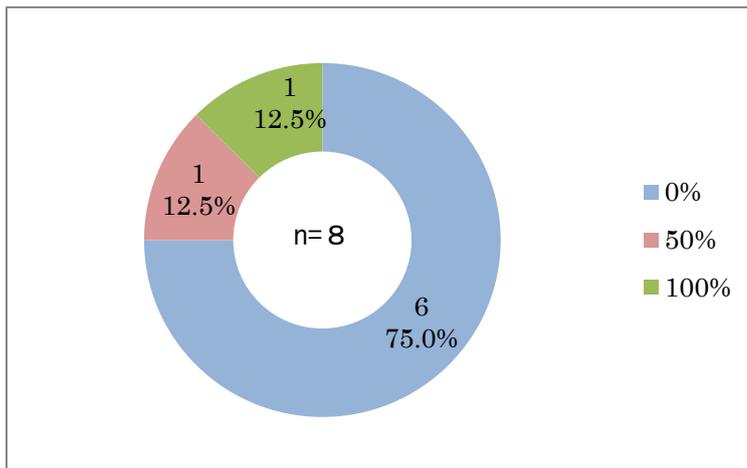
- ③-1 貴院が想定するギャンブル等依存症の治療の望ましい入院治療期間について、最も近いものに1つ ○をつけてください。
- ③-2 貴院がギャンブル等依存症の治療に実際になされた平均的な入院治療期間について、該当するものに1つ ○をつけてください。

○ 医療機関が想定する望ましい入院治療期間は、回答のあった23件のうち、「1月以上6月未満」が最も多い。一方、医療機関における実際になされた平均的な入院治療期間は、回答のあった13件のうち、「1月以上6月未満」が最も多く、医療機関の想定と実際の入院期間に大きな乖離はない。



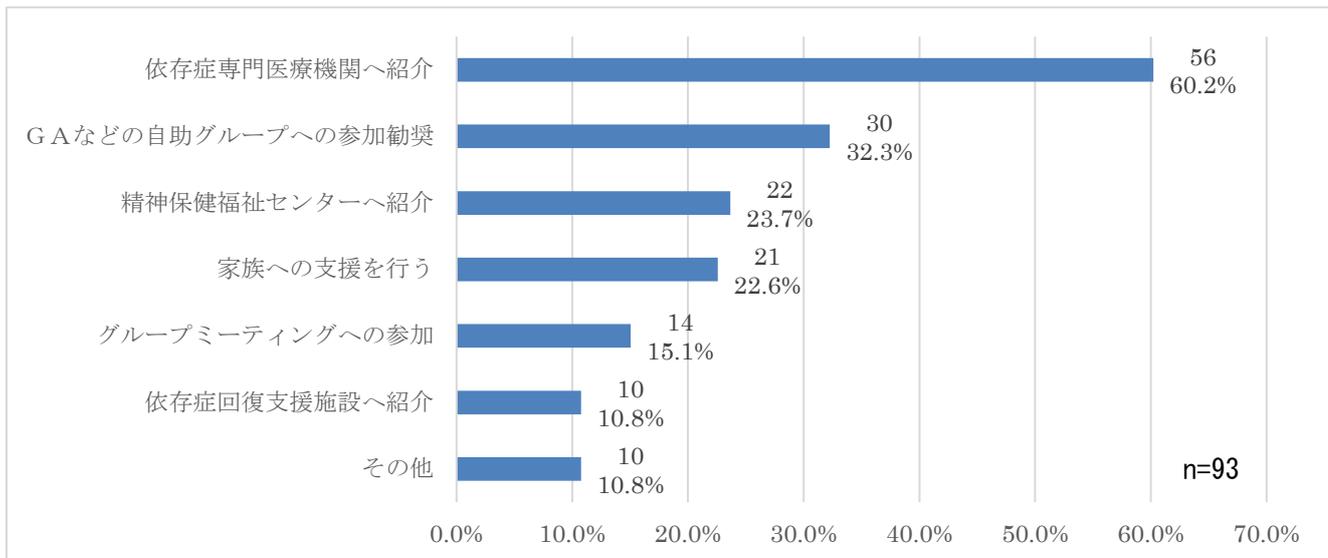
④ ギャンブル等依存症で入院された患者さんの中で、医療を自己中断したと思われる方はどのくらいの割合か記載してください。

○ 入院を自己中断したと思われる方がいたのは、回答のあった8医療機関のうち2医療機関である。



(2) ギャンブル等依存症と診断した場合、その後の主な治療や対応（フォロー）として該当する項目に○をつけてください（複数回答可）。

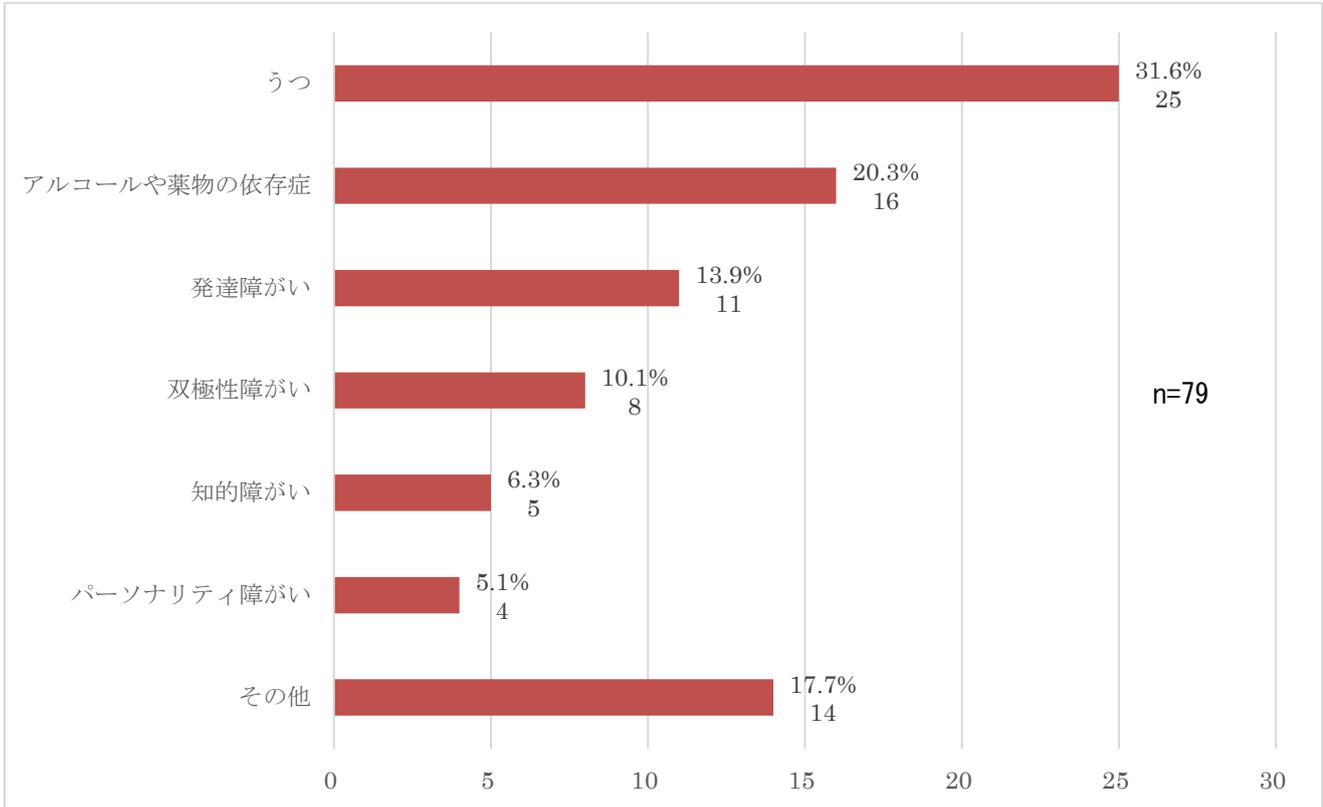
○ ギャンブル等依存症と診断した場合の、その後の主な治療や対応については、「依存症専門医療機関へ紹介」が最も多く、次いで「GAなどの自助グループへの参加勧奨」「精神保健センターへ紹介」となっている。



(3) ギャンブル等依存症と診断した方で、併存する精神障がいが見られる事例はありますか。

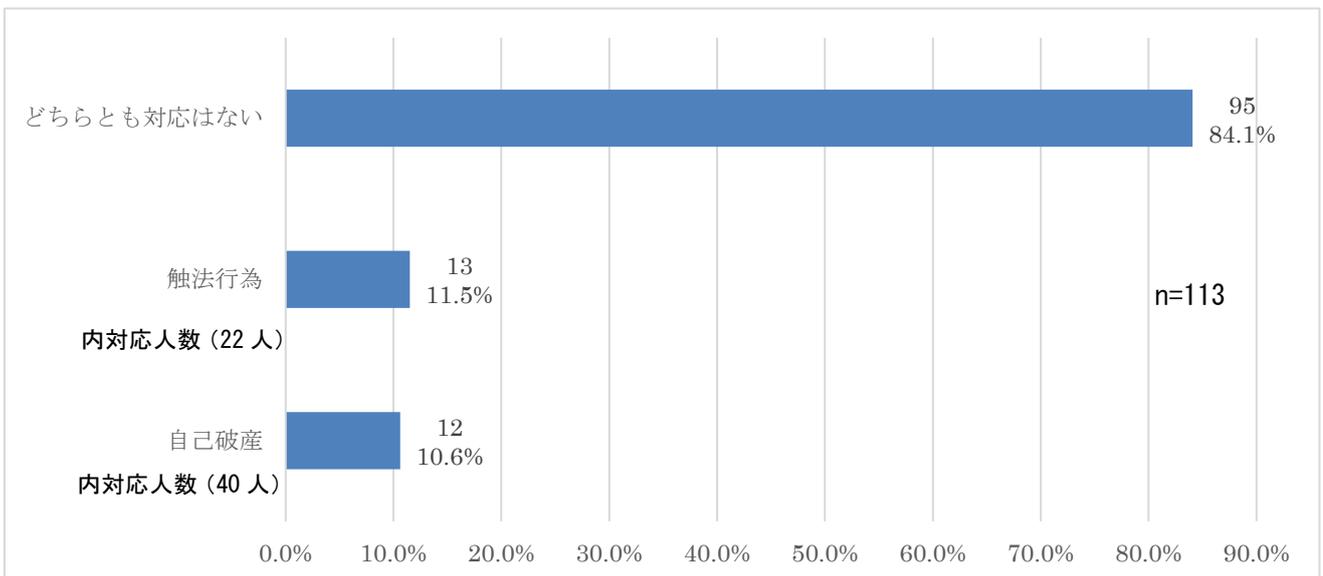
○ ギャンブル等依存症と診断した方で、他の精神障がいがあるのは79名で、「うつ」が最も多く、次いで「アルコールや薬物依存症」「発達障がい」となっている。
 なお、「その他」では、パニック障害、適応障害などが多い。

- ・他の精神障がいがある数
 実数 79人
- ・併存する精神障がいがある方の障がい種別に該当する人数を記載してください。(複数回答可)



(4) 触法行為や自己破産を経験している患者の対応がありましたら人数を記載してください。(複数回答可)

○ 触法行為や自己破産を経験している患者の対応については、「どちらも対応はない」という医療機関が約8割を占めており、触法行為・自己破産の対応ありの医療機関がそれぞれ1割となっている。



(5) ギャンブル等依存症の治療全般に当たっての課題や困難なことがありましたら記載してください。

- () 特にない 【79】
() ある (ある場合は、その内容を下記に記載ください。) 【34】

・主な意見

- 精神科医として、ギャンブル等依存症の治療トレーニングを受けたことがないので、対応方法が分からない。
- 問題が多く、医師一人の小規模診療所では対応できない。
- 専門的な治療(体制)が必要。
- ギャンブル等依存症の専門治療を行うにあたっての診療報酬面での支えがない。
- 退院支援を行う際の受け皿が少ない。
- アルコール依存以外の依存症について、専門プログラムがなく介入が困難。
- そもそも治療に結びつかない。受診につながっていないと思われる。
- 居住地近郊に専門病院や自助グループがないため、治療の継続が難しい。 など

4 ギャンブル等依存症対策に関するご意見等がありましたら記載ください。

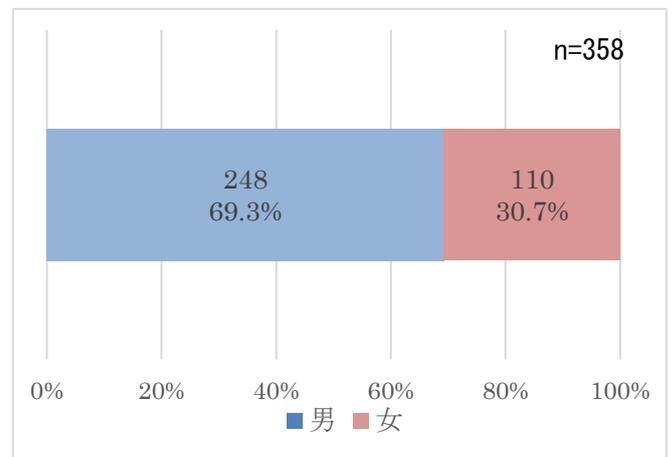
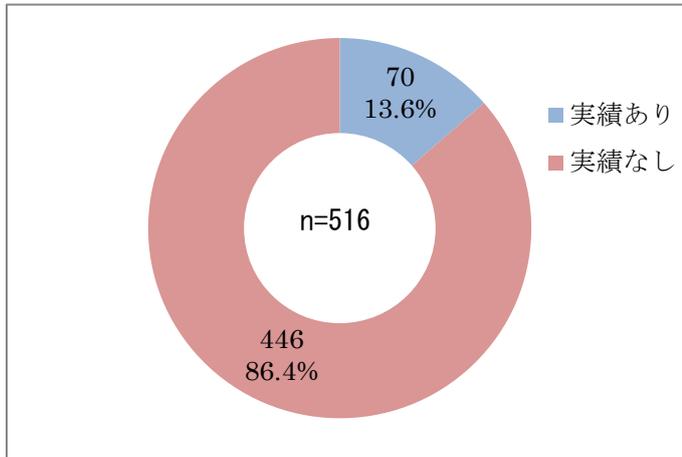
・主な意見

- 専門医療機関または相談窓口のパンフレット等があれば紹介しやすい。
- 相談窓口を広げ、早い段階で本人や家族が相談に来れるのが望ましいです。
- 当院においてもギャンブル等依存症の患者の受け入れ実績ほとんどなく、職員の疾病理解・支援技術も十分とは言えない。ギャンブル等依存症の治療・支援に従事するスタッフの養成も課題であると考える。 など

(2) 相談機関（有効回答数：516）

1(1) 貴機関の相談を受けた中でギャンブル等が関係する相談事案がございましたか。実績ありの場合は、以下の欄にも記載ください。※問題・要因等が重複している場合は、複数回答可

- 相談機関で相談実績「あり」と回答した機関は、約14%であった。
- 相談実件数は、男性248人、女性110人、合計358人である。男女比では、男性が女性の約2倍である。

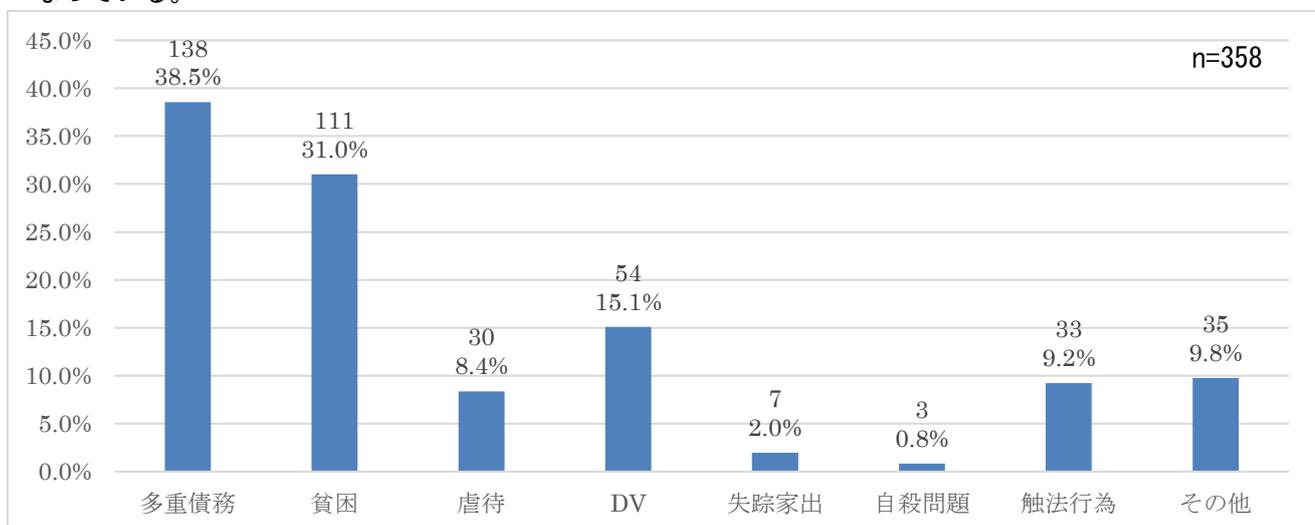


要因等		問題	実件数		多重債務		貧困		虐待	
			男	女	男	女	男	女	男	女
①		ギャンブル等問題 相談件数	248人	110人	105人	33人	73人	38人	25人	5人
内容 ※複数回答可	相談してきた者	本人(当事者)	107人	23人	55人	9人	30人	14人	2人	1人
		家族	102人	76人	50人	25人	28人	22人	21人	3人
		その他()	36人	14人	3人	3人	7人	4人	1人	1人
	要因のギャンブル等	競馬	31人	7人	18人	2人	6人	1人	8人	0人
		うち、ネット購入者	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
		競輪	4人	0人	0人	0人	2人	0人	2人	0人
		うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		オートレース	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		モーターボート	5人	0人	3人	0人	2人	0人	5人	0人
		うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
パチンコ・パチスロ		152人	64人	72人	21人	53人	29人	20人	3人	
その他()	47人	6人	19人	1人	15人	0人	5人	2人		

要因等		問題	DV		失踪家出		自殺問題		触法行為		その他	
			男	女	男	女	男	男	男	女	男	女
①ギャンブル等問題 相談件数			41人	13人	6人	1人	3人	0人	25人	8人	31人	4人
内容 ※複数回答可	相談して きた者	本人 (当事者)	0人	9人	3人	0人	3人	0人	15人	1人	11人	0人
		家族	34人	4人	1人	1人	0人	0人	9人	4人	8人	4人
		その他 ()	7人	1人	1人	0人	0人	0人	3人	3人	10人	1人
	要因のギャンブル等	競馬	10人	1人	0人	0人	0人	0人	8人	1人	0人	0人
		うち、 ネット 購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		競輪	2人	0人	0人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人
		うち、 ネット 購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		オート レース	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち、 ネット 購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		モーター ボート	5人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち、 ネット 購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		パチンコ ・ パチスロ	22人	13人	4人	2人	3人	0人	16人	5人	12人	2人
		その他 ()	19人	0人	1人	0人	0人	0人	5人	2人	10人	3人

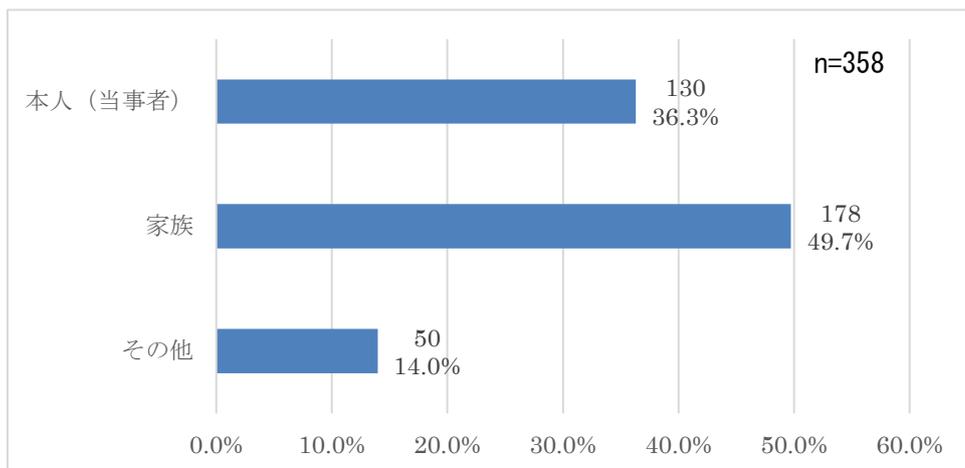
ギャンブル等問題相談件数

○ ギャンブル等問題相談件数については、多重債務問題が相談件数の約4割を占めており、次に貧困、DVとなっている。



相談してきた者（内訳）

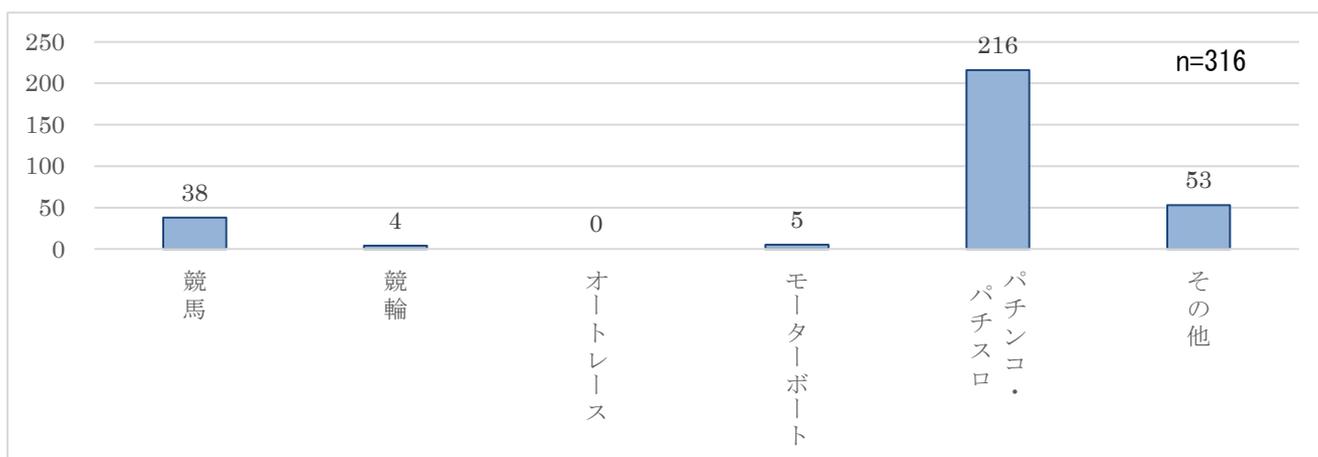
○ 相談してきた者は、家族が178人で約5割を占めており、本人（当事者）は130人で約4割である。



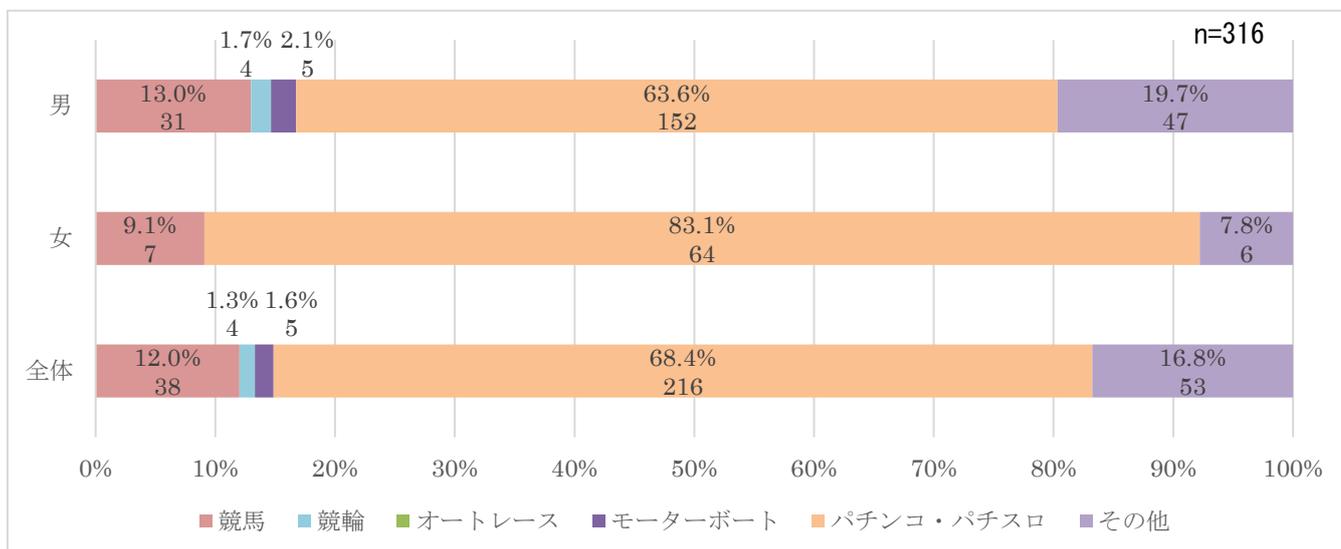
ギャンブル等の種別（内訳）

○ ギャンブル等の種別に関し、回答のあった相談機関では、パチンコ・パチスロが全体の約7割を占め、競馬が約1割となっている。

○ ネット購入者は、競馬で1件あった。



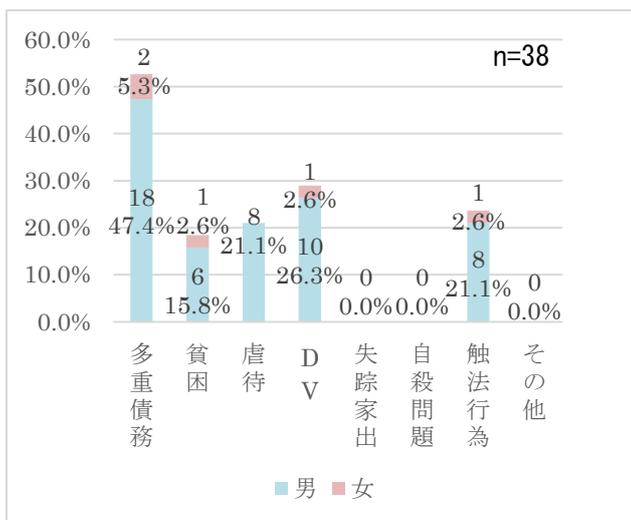
※その他は「ギャンブル等の種別を聞き取っていないこと」、「不明」、「ネットゲームへの課金」といったものがあった。



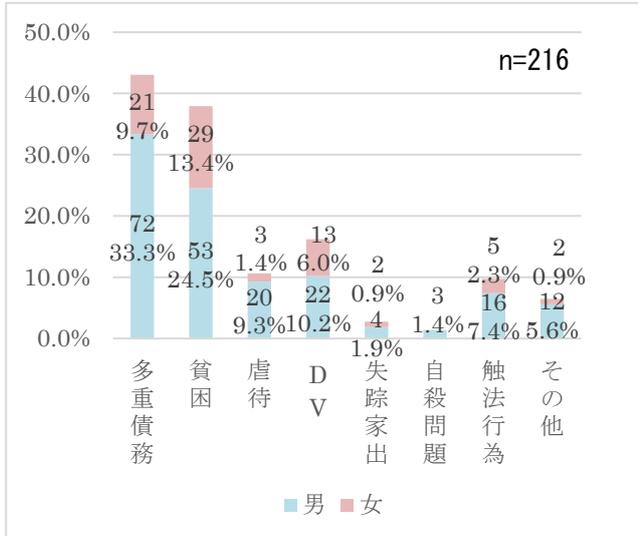
ギャンブル等の種別ごとの問題について

○ ギャンブル等の種別ごとの問題については、競馬では、多重債務が52%と最も多い。パチンコ・パチスロでは、多重債務が多く、次いで貧困になっている。

【競馬】



【パチンコ・パチスロ】

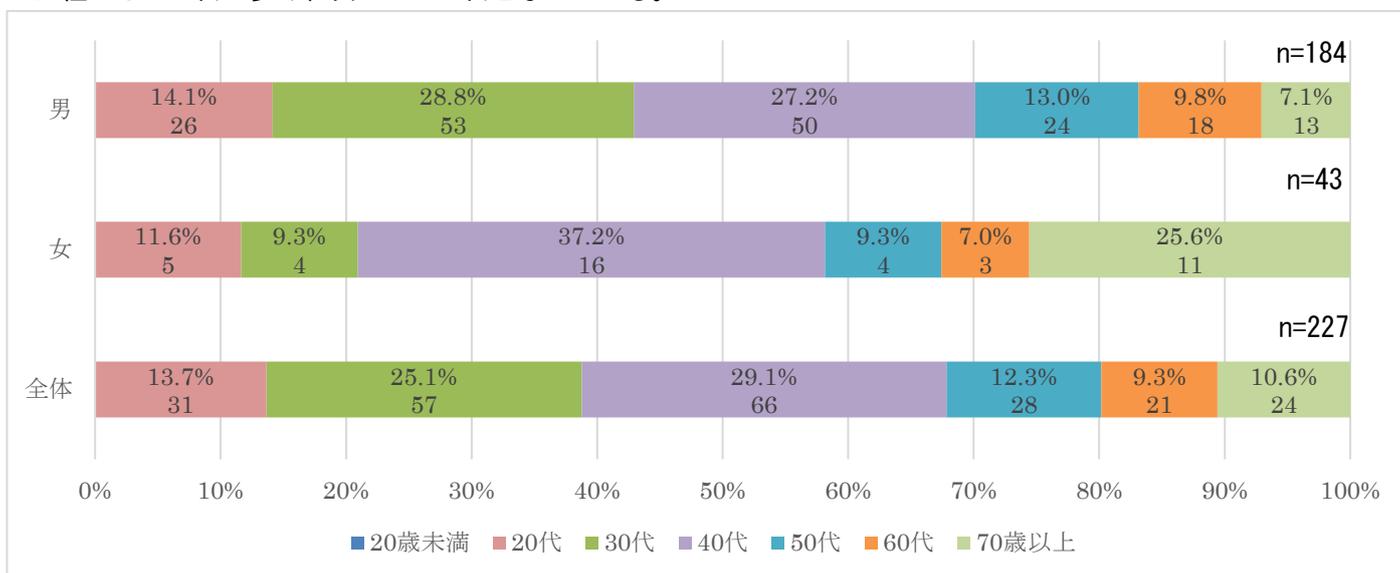


年代等	問題	実件数		多重債務		貧困		虐待	
		男	女	男	女	男	女	男	女
②	ギャンブル等問題を起こしている当事者の人数	248人	110人	105人	33人	73人	38人	25人	5人
内訳	20歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	20代	26人	5人	15人	2人	11人	4人	3人	0人
	うち、ネット購入者	2人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	30代	53人	4人	32人	3人	13人	0人	9人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	40代	50人	16人	21人	4人	18人	9人	7人	3人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	50代	24人	4人	13人	3人	8人	2人	2人	0人
	うち、ネット購入者	1人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	0人
	60代	18人	3人	8人	2人	4人	2人	1人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	70歳以上	13人	11人	4人	3人	7人	3人	0人	1人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
不詳	64人	67人	14人	16人	10人	17人	3人	1人	
うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

年代等	問題	DV		失踪家出		自殺問題		触法行為		その他()	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	②ギャンブル等問題を起こしている当事者の人数	41人	13人	6人	1人	3人	0人	25人	8人	31人	4人
内訳	20歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	20代	7人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	30代	8人	0人	3人	0人	1人	0人	7人	1人	7人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	40代	12人	8人	1人	0人	1人	0人	6人	1人	9人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	50代	2人	0人	0人	0人	1人	0人	2人	0人	1人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	60代	7人	0人	1人	0人	0人	0人	2人	0人	0人	0人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	70歳以上	0人	0人	0人	1人	0人	0人	1人	0人	2人	2人
	うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
不詳	5人	4人	0人	1人	0人	0人	3人	5人	9人	1人	
うち、ネット購入者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	

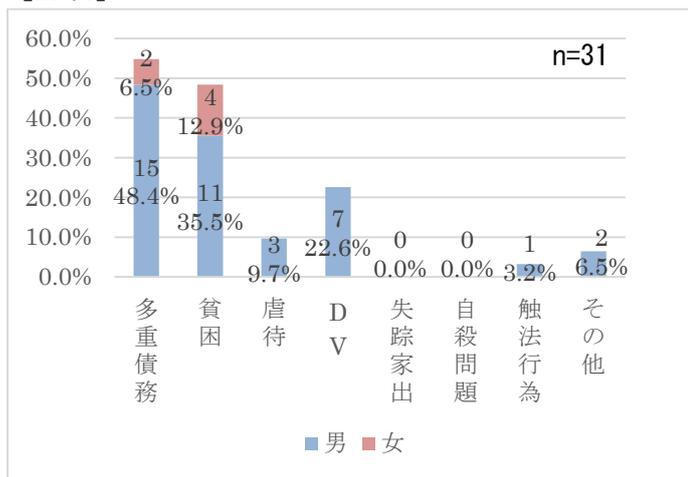
年代等について

○ ギャンブル等問題を起こしている当事者の年代については、男性では30～40代が多く、56%を占めている。女性では40代が多く、次いで70代となっている。

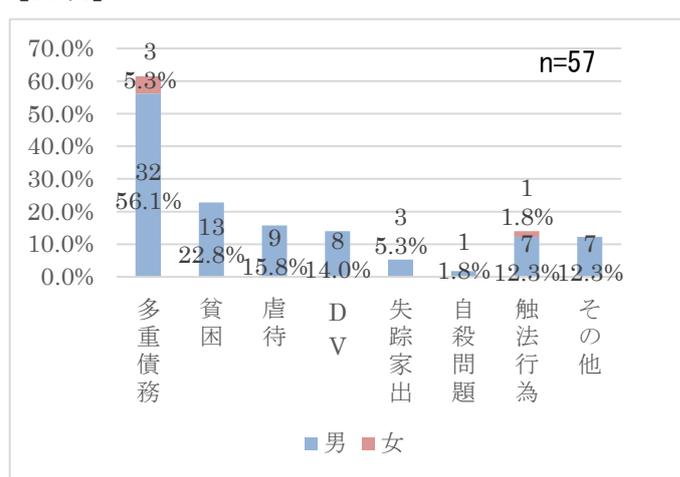


年代別問題について

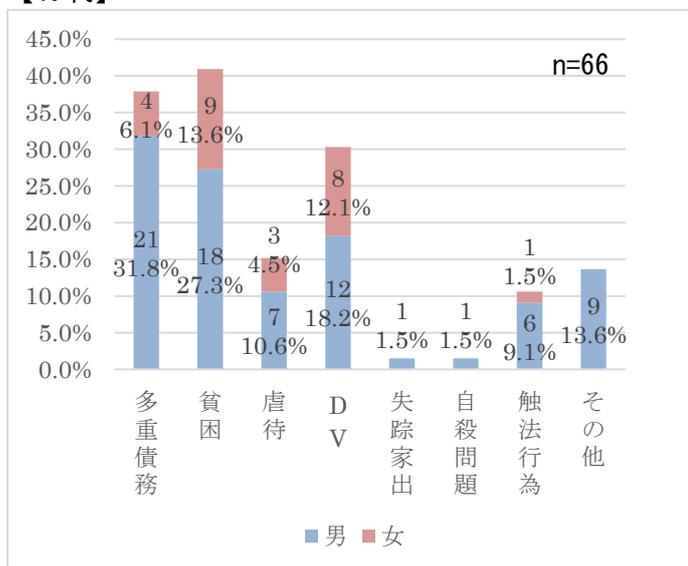
【20代】



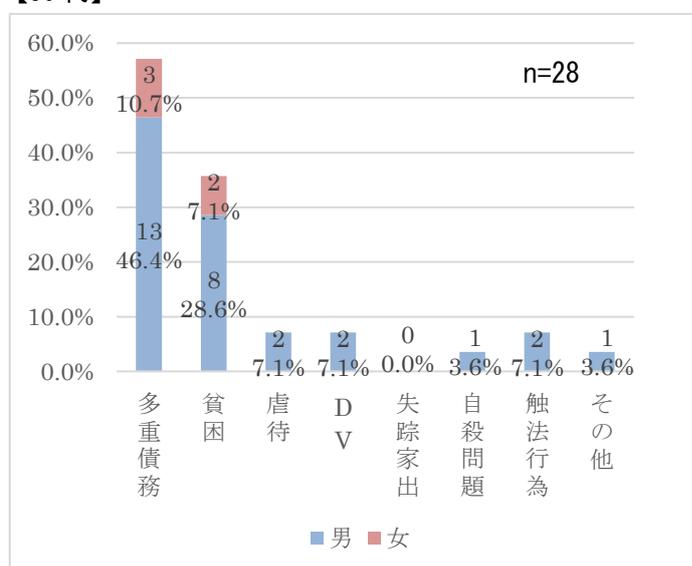
【30代】



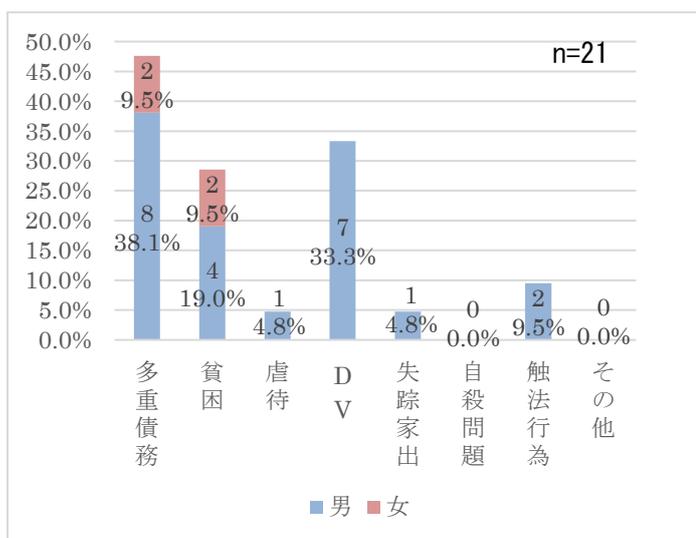
【40代】



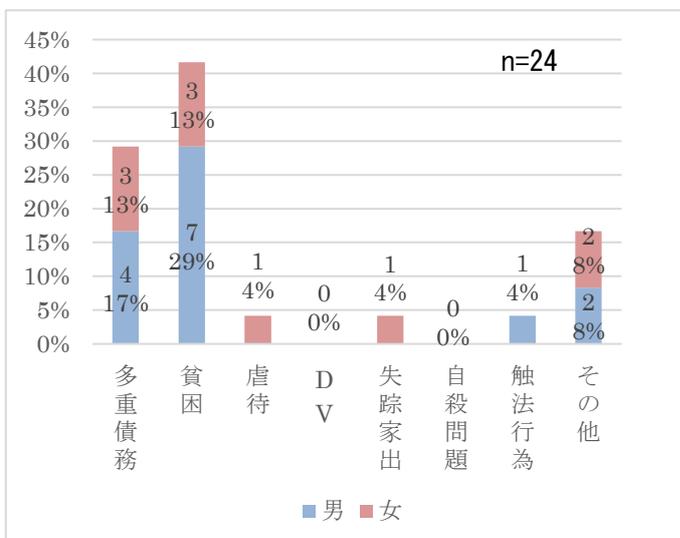
【50代】



【60代】

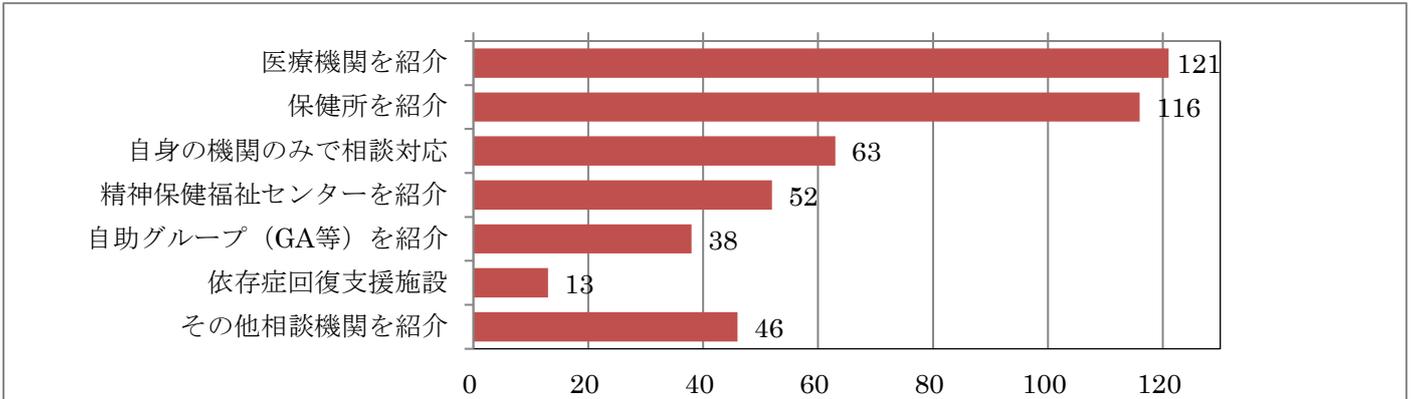


【70歳以上】



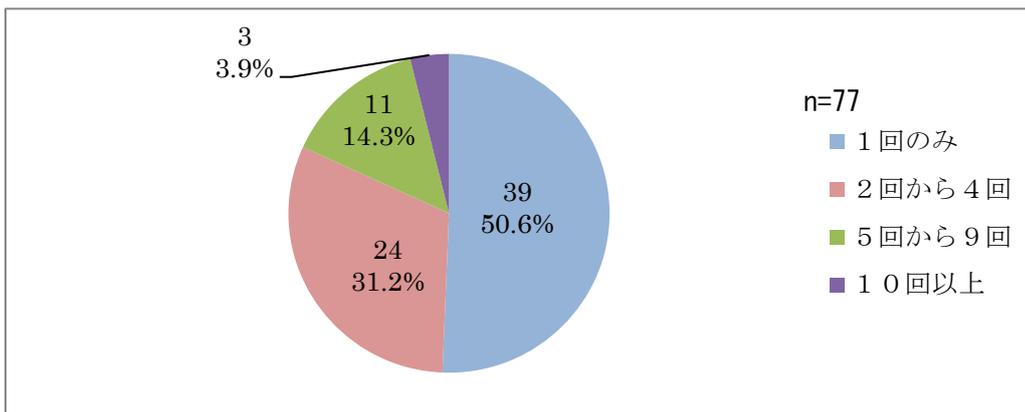
(2) 貴機関にて対応している相談のうち、ギャンブル等依存症が疑われる場合の主な対応について、該当する項目に○をつけてください(複数回答可)。

- ギャンブル等依存症が疑われる場合の主な対応については、「医療機関を紹介」が多く、次いで「保健所を紹介」となっている。
- 「その他」は、市町村相談窓口、法テラスなどとなっている。



(3) 一年間(平成30年4月~平成31年3月)で同一の案件で繰り返し相談されたものはありましたか。繰り返しの相談が最も多い回数に1つ○をつけてください。

- 繰り返しの相談に関しては、1回のみが半数を占めているが、2回以上も約半数あり、そのうち、10回以上の回答が3.9%となっており、同一案件で複数回、相談対応している。



2 ギャンブル等依存症が疑われる事案の相談にあたっての課題や困難なことがありましたら記載してください。

・主な意見

- ギャンブル等依存症の専門医療機関の情報がない。
- 本人のギャンブル等依存であるという自覚がない事で解決に結びつけづらい。病識がない。
- 本人に治療の意思がない場合の対応について苦慮している。
- GA、ギャマノン、治療可能な医療機関等の情報に触れる機会が少ない。
- 家族は抱え込みやすく相談へつながるまでに時間を要することが多い。 など

3 ギャンブル等依存症対策に関するご意見等がありましたら記載ください。

・主な意見

- ギャンブル等依存症の対応について学習する機会が少ないため、研修会があれば参加したい。
- 基礎的な相談対応研修や専門機関を知る機会があるとよい。
- ギャンブル等依存症を疾病・治療対象と捉えていない方が多いと感じる。一般・関係職員に対する啓蒙を継続して実施する必要がある。 など